

退任にあたって



市長 安田 養次郎

今月29日をもって市長の任期を満了し、退任することとなりました。

3期12年の任期中に、市民のみならずにお約束した公約もほとんどすべてを成し遂げることができて安堵しております。

振り返ると、私が市長に就任した平成3年以来、任期中は、バブル経済の崩壊を受けて、ずっと厳しい財政状況の下にありました。

しかし、試練は新たな可能性を与えてくれる。この12年間、私はそう考えて、市政の運営に取り組んできました。新たな可能性を求めて、行政改革を積極的に進め、職員定数を削減する

とともに、民間との協働によって、「三鷹の森ジブリ美術館」の開館や、学校インターネットの実験事業、「SOHO CITY Y みとか」構想の推進、公設民営の保育園の開設など、財政支出を極力抑えながら、規制の多い日本社会の中で、いかに創意工夫に満ちた新しい施策の展開を図るかに腐心してきました。これらは、自治体経営という視点から新しい方向性を示したプロジェクトであったと自負しています。

また、一昨年には、新しい三鷹市の基本構想と第3次基本計画が確定しました。これは、市が素案を作成する前

の白紙の段階から市民がプランを作成し提言を行うという、全国的にも例のない新しい形での市民参加を得て策定したものです。

その中で、自治体経営の基本的な考え方として、これからの三鷹市の方向性を示しております。行政の役割を、これまでの直接的なサービス提供から総合的なコーディネーター機能を重視したあり方へと転換するとともに、地域の人材や民間活力、自然、文化などのあらゆる資源を活用し、市民・NPO・事業者との協働によるまちづくりを積極的に推進するという考え方を、今、厳しい経済不況が続く中で、人々の中に、経済的成長を追求する一歩の価値観から多様な価値観へと向かい、地域社会に目を向ける動きが出てきています。こうした変化を見ると、三鷹市の未来に向けた方向性が遠くならず時代にマッチし、大きく花開いて、新たな市民社会が実現されるのではないかと考えているところであります。

3期12年間の任期中に、このような流れの基礎をつくることができたことに、市役所入庁以来行政にかかわってきた者として、この上もない喜びを感じます。そして、これが、これからの市民のみならず一人ひとりの幸せにつながっていくことを願ってやみません。

三鷹市の名誉市民である武者小路実篤さんの言葉に、「この道より我を生かす道なしこの道を歩く」というものがあります。まさに私は、半世紀近くにわたって三鷹市で地方自治一筋に生きてきたわけで、今、感無量であります。長い間の協力を、心からお礼申し上げます。三鷹市のますますの発展を祈って、退任のごあいさつといたします。



1998年(平成10年)4月 筑摩書房と共催で「太宰治賞」を復活



1995年(平成7年)から 学校図書館を全小中学校22校に整備



1997年(平成9年)11月 ワークショップ「丸池復活プラン」の提言



1999年(平成11年)9月 I 先進教育の全国ネットワークセンターがオープン



1996年(平成8年)6月 ドイツで行われた国際自治体シンポジウムで講演

「地名」をキーワードに三鷹をのぞいてみると、地形や人々の暮らしがよみがえってきます。

「グラフィタカ」第15号では、「地名」を特集。地名を元にした中原の紹介、地名レッドデータマップのほか、中級者には地名基礎語ガイドを用意、想像力はみなさんで用意ください。

特集2は調査が進む「島屋敷」についてです。記録がほとんどない中世の三鷹市で、あの柴田勝家の一族が住んだ「島屋敷」はちよっと異色の存在です。不明な点だらけですが、調査報告



「地名」をキーワードに三鷹をのぞいてみると、地形や人々の暮らしがよみがえってきます。

「グラフィタカ」第15号では、「地名」を特集。地名を元にした中原の紹介、地名レッドデータマップのほか、中級者には地名基礎語ガイドを用意、想像力はみなさんで用意ください。

特集2は調査が進む「島屋敷」についてです。記録がほとんどない中世の三鷹市で、あの柴田勝家の一族が住んだ「島屋敷」はちよっと異色の存在です。不明な点だらけですが、調査報告

グラフィタカ「第15号」発行

祝入館者100万人 三鷹の森ジブリ美術館



宮崎吾朗館長(左)から記念品を渡され、大喜びの2人

連日大賑わいを見せている三鷹の森ジブリ美術館の入館者が、4月3日、平成13年10月1日の開館以来49日目で100万人に達しました。

100万人目になったのは両親と一緒に来館した名古屋市中川区の加藤千奈津ちゃん(4)と将仁ちゃん(8)の兄妹。2人には美術館の宮崎吾朗館長から「千と千尋の神隠し」のセル画や美術館オリジナルグッズが記念品として贈られました。

チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団
(三鷹市芸術文化センター内)
☎47-5122
http://mitaka.jpn.org/

チケットのお求め方法

- 電話予約 芸術文化センター☎47-5122
- 窓口販売 芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂 ※学生券をお求めの方は当日学生証を拝見します。
- 販売時間・休館日 10:00~19:00 月曜日休館。
- プレイガイド チケットぴあ ☎0570-02-9999

友の会MARCL(マークル)

いろいろな会員特典があります。(年会費2,000円)

- ①チケットの優先予約
- ②チケットの割引(1公演2枚まで)
- ③チケットの無料送付(口座振替ご利用の方)
- ④レストランの割引

入会即日から優先予約もできます。くわしくは芸術文化センターへ。 ※「広報みとか」4月6日発行号のチケットインフォメーションで、7月

20日(日)井心亭100夜スペシャルの発売日を、誤って一般/4月23日(水)と掲載しました。正しくは一般/4月25日(金)です。お詫びして訂正します。

★印の公演には託児サービスがあります。1歳半~未就学児対象。要予約(定員10人)。料金500円。

芸術文化センター星のホール

●CINEMA SPECIAL

「人生はこれからだ。〜素敵なお年寄り」が主人公の映画特集

昼の部 11:00開演
夜の部 16:00開演
各回2本立て/完全入替え制
全席指定 会員=900
一般=1,000 学生=800

5月17日(日)
◆「こころの湯」(1999年・中国92分) 北京の下町の銭湯が舞台に、家族や親子の絆、町の人々とのふれあいを描く心温まる人間ドラマ。
◆「山の郵便配達」(1999年・中国93分) 中国南方の険しい山岳地帯で郵便配達を続けてきた初老の男が、仕事を息子に引き継ぐことに。中国のア카데미賞にあたる金鶏賞で、作品賞、主演男優賞を受賞。
6月14日(日)
◆「歌え、フィッシャーマン」(2001年・ノルウェー 105分) 実

存する平均年齢60歳の男声合唱団が歌う力強い曲に乗せて、団員の生活や仕事ぶりを紹介するドキュメンタリー。ノルウェーでは国民の7人に1人が見た奇跡の大ヒット作。

◆「約束/ラ・プロミッセ」(2000年・仏 89分) 小児がんに冒されている10歳の少年と、病院内で寝たきりの老人との心の交流。ベテラン俳優ミシェル・セローの抜群の存在感と少年の愛らしさが印象的。
7月12日(日)
◆「ノーバディーズ・フル」(1994年・米 110分) 心を閉ざす土木作業員のサリー(ポール・ニューマン)を主人公に、小さなコミュニティでの人々とのふれあいを優しく描き出す。大家役のジェンカ・タンディの遺作となった作品。

◆「ストレイトストーリー」(1999年・米 111分) 鬼才デヴィッド・リンチ監督による、これまでの作風とは全く異なった、心温まるロード・ムービー。時速8kmのトラックで560km離れた兄の元へ向かう老人



実話をもとにした物語。

●ラックスシステム「お見合」

作・演出 わかぎあふ

日程

	5/31	6/1	2-4	5	6	7	8
	土	日	月-水	木	金	土	日
14:00		●	休				★
15:00	●					●	
19:00	●		演				
19:15				●	●		

★印の公演には、託児サービスがあります

全席指定
前売 会員=3,200/一般=3,500
当日 会員=3,500/一般=3,800
出演:及川直紀 朝深大介 野田晋市 生田朗子 藤谷みき 千田訓子ほか

リリパットアーミーIIの座長、わかぎあふの演劇ユニット、ラックスシステム。関西に暮らすある一家の3姉妹が結婚をしていく何年間かをドラマチックにおもしろおかしく描きます。

三鷹市公会堂
一般発売日/4月22日(火)

★スアール・アグン
8月2日(日)19:00開演
全席指定 会員=3,150
一般=3,500 高校・大学生=2,000

小・中学生=1,000

「ジェゴグ」はインドネシア・バリ島西部に古くから伝わる、大型の木琴のような竹製打楽器。「スアール・アグン」はジェゴグのアンサンブルのグループです。ジェゴグのやわらかい重低音の響きは、胎児が聞く心音のような安らぎを感じさせるといわれ、一方で「ムバルン」と呼ばれる対抗演奏では演奏者が2チームに分かれてすさまじい音の「闘い」を繰り広げます。



◆バリ舞踊 体験ワークショップ
スアール・アグンのリーダー、スウェントラさんによる舞踊基本レッスン。コンサート前にバリ島気分を先取りしてみませんか。対象は小学校4年生以上の初心者の方。
▷8月2日(日)14:00~15:30、三鷹市公会堂別館3階で。参加費2,000円。
▶ほかの公演と同様にチケットをお求めください。先着20人。なお、「スアール・アグン」公演のチケット購入者は、このワークショップの見学ができます。